

令和3年度
国分寺市障害者地域自立支援協議会
専門部会 中間活動報告書

相談支援部会

就労支援部会

精神保健福祉部会

令和3年度 相談支援部会 中間活動報告書

今年度部会の主な取組内容

- ◆ 新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討
- ◆ 教育分野との更なる連携について検討

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月18日(火)	・新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討 ・教育分野との更なる連携について検討 ・地域体制強化支援の実施状況について ・『緊急を緊急にしない』支援体制について	オンライン開催
第2回	9月21日(火)	・新型コロナウイルスを含む災害対策に関する取組について ・『緊急を緊急にしない』ための取組について ・教育との連携を図るための具体的な取組について	オンライン開催
相談支援事業所連絡会	4月15日(木) 5月20日(木) 6月18日(金) 7月15日(木) 8月19日(木) 9月16日(木)	・ネットワーク研修について ・『緊急を緊急にしない』ための取組について ・地域体制強化共同支援の取組について ・ライフステージに沿った切れ目のない支援について ・教育分野との更なる連携について	オンライン開催 (4, 5, 7, 9月)
障害児通所支援事業所連絡会	7月13日(火)	・各事業所の現状及び情報交換について ・教育との連携について	オンライン開催

成果・活動から見えてきたことなど

新型コロナウイルス感染症は依然として収束の兆しが見えず、特に8月をピークとする第5波では国分寺市においても1ヶ月間で700名を超える新規感染者が発生するなど、これまで以上に緊張を迫られる事態となったが、このような状況下においても相談支援部会は取組を継続することができた。

まず、災害時において障害がある人への支援をどのように継続するのか、そのためにはどのような体制作りが必要であるかを学ぶ研修の実施についてであるが、講師に跡見学園女子大学教授の鍵谷一氏を迎え、12月21日にリオンホールでの開催が決定した。市内支援機関をはじめ多くの方に出席いただき、共に学びを深めることができるよう準備を継続する。

教育分野との更なる連携については、障害児通所支援事業所連絡会において協議を行っている。連絡会として学校見学会の実施等、連携を進める手法について検討をしており、新型コロナウイルス感染が一定程度落ち着けば実施に向けての調整を進めたい。

相談支援事業所連絡会においては、合同ケース検討を1回、児童から者への転換についてのケース検討を3回、ブラッシュアップ研修を2回実施するなど、相談支援の質向上とライフステージにおける切れ目のない相談支援体制を目指した取組を継続している。

昨年度より部会として協議を続けている『緊急を緊急にしない』ための取組については、短期入所事業所の地域生活支援拠点への位置付けによって、また1歩前進することができる。部会でも地域包括支援センターでの緊急支援についてや、近年における緊急入所保護事業での対応実績やケースについて検証を行ったが、現在ある「セーフティネット」の適切な周知方法や、緊急時対応における課題について整理する必要性を感じている。これらについては利用当事者と率直な意見交換をしながら取組を前進させていきたい。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回	2月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討 ・教育分野との更なる連携について検討 ・地域体制強化支援の実施状況について ・『緊急を緊急にしない』支援体制について 	
研修会	12月21日(火) 10:00～ リオンホール	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策研修『災害時における障害者支援』 講師：跡見学園女子大学教授 鍵谷 一 氏	
相談支援事業所連絡会	10月22日(金) 11月18日(木) 12月16日(木) 1月21日(金) 2月17日(木) 3月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現状・課題の報告 ・事例検討 ・教育分野との更なる連携について検討 ・『緊急を緊急にしない』支援体制について 	
障害児通所支援事業所連絡会	1月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間の連携・情報共有について ・教育との更なる連携について 	

令和3年度 就労支援部会 中間活動報告書

今年度部会の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 農福連携の推進について
- ◆ 商業施設での物品販売の実施について
- ◆ 一般企業実習先の開拓について
- ◆ お仕事ネットワークの連携活性化について

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月12日(水)	① 各作業部会の取組状況報告 ＊農福連携に関する協議 ＊お仕事ネットワーク ＊就労移行支援事業所連絡会 ③ 令和2年度就労支援部会活動報告 ④ 令和3年度の部会開催回数及び取組について協議 ④ ニュースレターについて	オンライン開催
第2回	9月10日(金)	① 各作業部会の取組状況報告 ＊農福連携に関する協議 ＊お仕事ネットワーク ＊就労移行支援事業所連絡会 ② 令和3年度の取組について	オンライン開催
国分寺障害者 施設お仕事 ネットワーク	4月8日(木) 5月13日(木) 6月10日(木) 7月8日(木) 8月12日(木) 9月9日(木)	①共同受注作業の報告について ②商業施設での物品販売について	オンライン開催
就労移行支援 事業所連絡会	6月2日(水) 9月13日(月)	①企業実習先の開拓について ②就労支援センター登録者の求職状況 ③就労アセスメントについて	

成果・活動から見てきたことなど

上半期の部会については、主に各作業部会の取組状況について情報共有することを中心に運営した。農福連携に関しては、関係者間の協議を経て、現在、社会福祉法人 Annbee がJAの協力を得て乾燥野菜の販売を検討している。今後、それらを市内飲食店や学校給食に活用していただくための課題として乾燥野菜のPRポイント（セールスポイント）を明確にする点があげられている。

その他生産農家等への除草作業等の役務提供については大きな進展はみられていない。発注が見込める作業について、価格の目安が提示できる価格表を作成することが課題となっているが、お仕事ネットの定例会とは別にワーキンググループ等の検討会議の場を設けることとした。

役務提供に関する価格表の作成は、商工会に加盟する企業や事業者からの仕事の開拓を進める点で

も必要と考えている。

これら、受注案件の開拓に向けた整備を進めるとともに、現状の各福祉施設が農福連携や企業等からの新規受注に関してどの程度関心があるのか、また実際にどの程度対応可能であるのかなどといった点についても改めて確認が必要と考えている。

お仕事ネットワークにおける共同受注に関しては比較的順調に推移している。更に受注能力を強化するために必要に応じた近隣他市の事業所やネットワークとの連携については継続課題となっている。また、庁内における優先調達案件について、情報の共有と受注の促進を目的とした話し合いの場を設けてはどうかとの意見が出されたので、今後の検討課題とした。

なお、今年度上半期に実施を予定していた国分寺駅での販売イベントについては、コロナウィルスの感染状況を考慮し、中止としたが、セレオ国分寺よりテナントより排出される食用油の廃油を活用した製品の開発に関して提案があり、現在、社会福祉法人けやきの杜がキャンドルづくりの試作を行っている。

地域における実習先の開拓については、コロナウィルス感染拡大の影響を受け、候補先として挙げられている大学や特別養護老人ホーム等との協議については延期としたため、引き続きの継続課題となっている。

その他、庁内実習等については概ね予定通りに実施した。

かねてより課題となっている福祉関係者以外の委員の方を交えた部会全体で取り組めるようなテーマについては、他市の就労支援部会の取組なども参考に検討しているが、未だに見いだせていない状況にある。

今後の活動予定

障害者週間行事 における販売会	12月3日(金)～ 12月5日(日)	お仕事ネット加盟団体による自主製品等の 販売やクラフト品等のワークショップを計画	会場:セレオ国分寺
第3回	2月3日(水)	・今年度の取組(各作業部会・就労支援部 会)についての報告・総括 ・次年度に向けての取組について協議	
国分寺障害者 施設お仕事 ネットワーク	10月14日(木) 11月11日(木) 12月9日(木) 1月13日(木) 2月10日(木) 3月10日(木)	①共同受注作業の報告について ②商業施設での物品販売について	
就労移行支援 事業所連絡会	未定	①企業実習先の開拓について	

その他

--

令和3年度 精神保健福祉部会 中間活動報告書

今年度部会の主な取組予定

- ◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行う。(継続)
 - ① 「地域生活支援拠点」の機能の精査と精神障害者の活用法を検討する。
 - ② 精神科病院に長期に入院中の国分寺市民の方々への支援課題に対して、「地域移行支援ワーキング・グループ」の活動を軸に推し進める。
→国分寺市民が多く利用している近隣市の精神科病院へのアプローチを重ねる。
 - ③ コロナ禍における支援の在り方や課題について災害時の対策との関連も視野に検討・協議していく。
 - ④ 精神障害当事者の方からの生活状況や暮らしのニーズ等のヒアリングを行い、今後の支援の課題を抽出し、施策・制度への反映を模索する。

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
ワーキンググループ	4月22日(木)	精神科病院訪問についての打合せ ・相談室 PSW にインタビュー内容の検討	訪問日 5月18日 オンライン開催
第1回	5月21日(金)	① 今年度の部会の取組について 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議検討を重ねる。 ② 居住支援について ③ 前年度当事者ヒアリングの振り返りと今年度ヒアリングの取組について ④ 精神障害に関する普及啓発活動について ⑤ 地域移行支援ワーキング・グループの活動報告と今後の取組について	① 継続的取組 ②ハード面(居所の確保)とソフト面(生活支援)の拡充 ④広報など ⑤精神科病院へのアプローチ オンライン開催
ワーキンググループ	5月18日(火)	近隣市の精神科病院訪問 相談室の PSW (急性期病棟・療養病棟) にインタビュー	
スキルアップ研修Ⅰ 地域移行	6月21日(月)～ 6月28日(月) YouTube オンデマンド配信	◆東京都における地域移行支援取り組み状況 (東京都多摩総合精神保健福祉センター地域体制整備担当) ◆東京都精神障害者地域移行体制整備事業の報告(はらからの家コーディネーターからの報告) ◆国分寺市障害者自立支援協議会精神保健福祉部会の報告 (精神保健部会長からの報告～地域移行ワーキング・グループの活動を軸に～)	申込 125名 再生回数 173回
ワーキンググループ	7月9日(金)	・スキルアップ研修の振り返り ・今後の WG としての退院支援の流れの確認 ・個別ケースの取組について	
ワーキンググループ	8月3日(火)	退院に向けての支援が必要な方の事例検討	

第2回	9月3日(金)	① 地域移行支援ワーキング・グループの活動報告ならびに今後の活動について ② 普及啓発について ③ 当事者ヒアリングの実施に向けて ④ 地域生活支援拠点の検討	① 取組報告と各委員からの意見 ② 教育現場等への発信 ③ 設問項目の検討等 ④ 「緊急時対応」の中身について オンライン開催
ワーキンググループ	10月4日(月)	近隣市精神科病院訪問打合せ 病棟看護師へのインタビュー内容の検討	

成果・活動から見てきたことなど(課題整理)

<p>◆長期入院中の国分寺市民の方々の実態の把握と地域移行支援を進めていくために、部会構成員によるワーキング・グループを編成し、市民利用の多い病院訪問を実施し、各セクションとの協議を重ね、つながりを強めながら、実質的な地域移行を推進していく方向を確認している。今後、本経験をもとに、他病院への拡大をはかる。</p> <p>◆普及啓発については、ターゲットを絞った実践を試みることとし、養護教諭の研修機会等への部会員の出向による情報発信を行う。</p> <p>◆「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」においても重要な機能となる地域生活支援拠点の機能充実に向けて、とりわけ緊急時における対応について協議を重ね、支援の在り方を見出していく。</p> <p>◆精神障害当事者からの直接的なヒアリング等により生活支援の要素やニーズをくみ取り、またワーキング・グループの活動において抽出された課題との共有化もはかりつつ、地域の課題や支援ニーズを引き続き確認・共有していく。</p>

今後の活動予定

	日にち	内容(予定)	備考
第3回	11月19日(金)	①東京第二弁護士会弁護士による退院請求・処遇改善請求制度と退院等当番弁護士制度についての説明 ②精神科医療地域連携事業と、他市の地域包括ケアシステムへの取組状況を含めての報告 ③普及啓発について ④地域移行支援ワーキング・グループの活動報告 ⑤地域生活支援拠点について ⑥当事者ヒアリング実施に向けて	
第4回	2月4日(金)	①当事者ヒアリングの実施 ②今年度の全体的な取組について ③次年度に向けての課題・取組について	